

令和3年度 自己評価・学校関係者評価書

令和4年3月31日
認定こども園すずき幼稚園

1 認定こども園の教育目標

「自立できる人・たくましい生命力のある人・人に親切にできる人」を目指す人間像として、立腰教育や躰の三原則を基盤に置いた生活習慣を徹底する。又、幼児の持つ可能性をあらゆる場面で発揮できるよう、言語活動や音楽、運動にも力を入れた総合的な遊びを展開する。

2 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)

新型コロナウイルスの蔓延に伴い、諸行事の中止または開催要領の変更等に柔軟に対応し、教育目標の達成と感染症対策のバランスを図る。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由	学校関係者評価
1 保育の計画性	B	令和2年度に引き続き、例年に比べ中止となった行事もあったが、可能な限り実施し、年間のカリキュラムも計画通り進めることができた。	A
2 保育のあり方 幼児への対応	A	コロナ禍においても園児の能力向上は目標を達成できたと思う。 例年以上に身体能力を全体的に向上させられたと思う。	A
3 教師としての資質、 能力、良識、適正	A	コロナ禍においていかに最大限の教育が施せるかを常に考え、行動した。 職員同士で教育について話し合い、最適最良を目指す姿が随所に見られた。	A
4 保護者への対応	A	職員と保護者の連携がとても良く取れている。保護者からのクレームはほぼ無く、対応に困る事は皆無。卒業児の保護者から「卒業させたくない」との声を頂いている。	A
5 地域の自然や社会との かかわり	C	前年度中止にした座禅会等を復活させ、徐々に園外活動も戻したが、まだ未収束につき実施できない事もあった。	B
6 研修と研究	A	昨年同様オンラインでの研修に積極的に参加したため、たくさんの研修に参加することができた。普段、充分とれない時間が確保でき、個々の研鑽ができた。	A
7 外部アンケート	A	コロナ禍においても工夫をして保育活動を実施できていたので、外部からの評価は高かった。	A

* 結果の表示方法
A 十分達成されている。
B 達成されている
C 取り組まれているが、成果が十分でない
D 取り組みが不十分である

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

子どもの成長はコロナ禍であっても十分引き出すことができたと感じている。保護者参観型の行事が一部中止となったが、動画編集を駆使してネット配信に力を入れた為、保護者からの評価は非常に良いものとなっている。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育の計画性	感染症等の渦中であっても、大幅な変更や中止を余儀なくされないような枠組みを作る必要がある。
地域の自然や社会とのかかわり	近隣の地域での活動が乏しい為、協力先を開拓する必要があると感じている。

6 学校関係者評価委員会からのコメント

「この園に来て本当に良かった」とお声を毎年卒業児の保護者から聞かすが、令和3年度は特にその声が多かったように思う。
これも日々子どもや保護者に対して強い責任感と使命感を持って対応しているからこそだろう。